

学校運営協議会 会議実施報告書

このことについて、「岐阜県立学校における学校運営協議会の設置等に関する規則」第8条第1項に基づき、次のとおり学校運営協議会を開催しましたので、その概要について報告します。

- 1 会議名 加茂農林高等学校 学校運営協議会 (第1回)
- 2 開催日時 令和6年6月27日(木) 13:30~15:30
- 3 開催場所 加茂農林高等学校 会議室
- 4 参加者

会長	大橋 薫子	岐阜県農業大学校長
副会長	長尾 久	岐阜県指導農業士
委員	日比野安平	地域住民
	渡辺 祥二	農業法人代表
	酒向 光世	医療法人管理職 (欠席)
	武田 由美	美濃加茂市教育委員
	井戸 肇	同窓会長
	浅野 恵美	PTA役員
学校側	金本 淳	校長
	佐藤 知子	事務部長
	斉藤 寧子	教頭
	楳田 一博	教務主任
	村井 陽一	生徒指導主事 (欠席)
	森本 達雄	進路指導主事
	佐藤 一喜	農場長

5 会議の概要(協議事項)

- (1) 教育指導の重点並びに学校経営計画及びスクール・ポリシーについて
全委員から本校の学校経営計画について承認が得られた。

(2) 各分掌の重点目標と達成に向けた具体的取組と方策について

意見1:交通安全の観点から、イヤホンをして登校している生徒について危険であることを伝えるのはどうしたらよいか。

⇒繰り返し、生徒に注意喚起していく。

意見2:昨年度自転車事故が7件あったと報告をうけたが、ヘルメットはかぶっていたか。

⇒ヘルメットをかぶっていない事故がほとんどであった。

意見3:中学校では従来の白や黄色のヘルメットから、デザイン性に優れたヘルメットを導入し、高校までの6年間つかえるような対策が取られてきている。引き続きヘルメットの着用について啓発、取組を続けていただきたい。

意見4：昨年度情報モラル違反が4件あったと報告をうけたが、具体的にどのような内容か。また対応について教えてほしい。
⇒SNSに本人の同意を得ず動画や写真をアップする事例や、嫌なことを書き込むという事例である。それぞれ、削除をさせ、情報モラルについて再度確認させた。

(3) 高等学校に期待される社会的役割（スクールミッション）の策定について。

これまで加茂農林高校が行ってきた教育活動からどのような社会的役割を担っているかご意見をいただきたい。

意見1：地球が抱えている課題「エネルギー、環境、食料」について、農業高校の学びに結びついている。自然との関わり合いの中で好奇心が芽ばえ、集中力が育ち、本気で取り組んできた体験により、粘り強くへこたれない人間が育ち、地域だけでなく世界で活躍できる人材を育成している。

意見2：小学生や地元の子供たちが憧れ、行きたいと思う高等学校となっている。これからも高校生の活躍を広報してくべき。

意見3：地域に親しみのある高校である。地域の担い手育成を担う高等学校である。

意見4：卒業生の教養の高さが特徴である。レベルの高い専門的な学びが実践され、生徒のコミュニケーション能力の育成ができています。

意見5：体験や経験を通じてやりたいことができる学校である。地域で働く担い手の育成ができていくことが魅力である。

意見6：若い人たちの中で農業のイメージが変わってきている。農業の学びについて興味をもっている子が多く育ってきている。一般社会や地域とのつながりを持つことが農業高校の学びにはあり、自分の力をどう発揮していくか経験することができる。

意見7：これからの農業は「脳」業であり、考えなければできない産業である。正しい知識と確かな技術を持った人材を育成し、地域農業に還元してほしい。地域の農業を支える人材の育成にもっと力を入れてほしい。

6 会議のまとめ

- ・第1回学校運営協議会において、全委員から本校の学校運営方針について承認が得られた。
- ・本校の取組について励ましの言葉や前向きな意見が得られた一方で、教育内容のさらなるレベルの向上や安全教育の推進が求められた。
- ・実習風景や施設の見学を通じて、本校の教育活動についてより理解したうえでスクールミッション策定への意見をいただくことができた。
- ・11月13日（水）に実施予定の第2回学校運営協議会では、今後実施する生徒・保護者を対象とした学校評価アンケートの結果を提示し、スクールミッションの原案を作成していく。
- ・本協議会は、引き続き学校が抱える課題を地域と共有し、委員の視点から助言を得る場としたい。